

りゅうぎんユイマール助成会
ミャンマーのサイクロン被災者および
中国四川大地震被災者支援
北谷町PTA連合会「安全マップ」作成費用助成

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、これまで福祉施設や環境保全団体、さらには大災害の被災者をさまざまに支援してきました。

二〇〇八年五月には、ミャンマーのサイクロン被災者や中国四川大地震被災者に対して救援金を贈呈しました。

また、地域の児童の安全を確保することを目的に、北谷町PTA連合会が作成した北谷町全域の「安全マップ」の作成費用を助成しました。

今年、琉球銀行が創立六〇周年を迎えたことを記念して、りゅうぎんユイマール助成会では小規模作業所等を対象とする総額六百万円規模の大規模な助成事業を展開していく予定です。募集は一〇月ごろを予定していますので「期待ください。」

解説 りゅうぎんユイマール助成会
りゅうぎんユイマール助成会は、一九九三年（平成五年）六月、琉球銀行の創立四十五周年を記念して設立した基金で、毎年、役員に寄付金を募り、さらに寄付金と同額を銀行が寄付することで基金を造成しています。設立からの助成金額は、二百六十八件、一億千五百五十九万円となりました。今後とも、公的支援の届かない分野を中心に、助成活動を展開してまいります。お気軽にご相談ください。



ミャンマーサイクロン被災者へ支援金助成

北谷町内安全マップ

平成19年度 北谷町PTA連合会 生活指導委員会作成

公益信託
「宇流麻福祉基金」
9団体に
300万円を助成

琉球銀行は、二〇〇八年三月十四日、第十三回公益信託「宇流麻福祉基金」の助成先九団体に助成金を授与しました。

同基金は、県外在住の源河朝明氏が故郷沖縄の福祉活動に役立てるため基金を設立したもので、琉球銀行は信託代理店としてその運営に携わっています。

二〇〇八年度は、障害者の生活自立および就労支援を目的とした団体や心臓病の子どもの支援団体、居場所のない十代の学生たちの居場所づくりを支援する団体、団地内の子どもたちを一時的に預かる事業を実施しているボランティア団体、車椅子の普及をめざす団体など、九団体に総額三百万円を助成しました。（公益信託は「解説」参照）



宇流麻福祉基金助成金授与式

解説 公益信託
琉球銀行は、公益信託代理店として、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として、一九九六年十二月に設立され、沖縄県内で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、一九九八年十一月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉にかかわる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。